



神楽島

長崎市立式見小学校
校長 中尾 善蔵



教育週間について

長崎県内では、平成16年からこの教育週間を開始しています。県内すべての公立学校が教育活動を公開する教育週間の実施を通して、学校と保護者や地域・住民が連携し、「地域の子どもは地域ではぐくむ」という気運を高める活動を行っています。

本校では、6月20日（月）～26日（土）の期間を教育週間として設定しています。“いのちを輝かせて生きる心豊かな式見っ子の育成”を目指して、協力して推進していきましょう。

話は「耳」と「目」と「心」で

担任をしていたとき、受け持ちの児童だけでなく我が子へも、よくこの事について話をしていたことです。

「規範意識」という言葉があります。簡単に言えば、「ルールを守る」「きまりを守る」ということです。式見小の子ども達には、もっと具体的に、「あ・は・は運動」という言葉で伝えていきます。（「あいさつ・へんじ げんきよく」「はやね・はやおき・あさごはん」「はきものそろえ いいきもち」）

5月末の全校集会での話の内容は次のとおりでした。児童はしっかりと聞いてくれました。

期日	午前	午後
6/20 （月）	朝会：校長講話 英語専科・ALT 来校 水泳指導開始 高学年 4年・にこにこ	【通常日課（公開）】 縦割り掃除 英語専科来校 （6年）
6/21 （火）	水泳指導 4年・にこにこ 高学年 科学館見学 （5年）	【通常日課（公開）】 原爆資料館見学 （5年）
6/22 （水）	水泳指導 高学年 4年・にこにこ	【通常日課（公開）】 縦割り掃除
6/23 （木）	水泳指導 4年・にこにこ 高学年	【通常日課（公開）】 集団下校
6/24 （金）	水泳指導 高学年 家族証言講話 10:25～ ※講師 永井徳三郎 氏	【通常日課（公開）】 英語専科来校 （5年）
6/25 （土）	【土曜授業】 道徳授業公開 懇談会・校長講話 安全マップ作成 親子クイズ作戦	

この字（聞く）は何と読みますか？

「耳」は耳の形を書いた絵がもとになって作られた字ですね。では、どうして「門」の中に「耳」があるのでしょうか。

「門」には、「出入り口」という意味があり、人の言葉や物音などが耳に入ってくる様子を表します。

今、みんなは私の話を聞いています。耳だけではなく、みんなこちらを向いて、目でも聞いています。

「話を目で聞く」と、どんな良いことがあるのでしょうか。話し手の方を見ないで、手まぜなどをしていないのか、「何の話なのか」「話し手がどんな気持ちで話しているのか」、わかりませんね。今のうちに、私の顔を見ながら話を聞いている人は、話の中身はもちろん、私がどんな気持ちで話しているのかも分かりますね。

ところで「聞く」には、もう一つの字があります。高学年の人の中には、わかる人もいるでしょう。

（「聴く」を見せ）これもきくと読みます。この「聴く」という漢字を分解すると「耳」と「目」と「心」の四つの文字になります。

この中で「十」は足し算の記号で「加える」という意味。「目」は「目」のことで、話は「耳」たす「目」と「心」で聞くことを表している漢字となります。

この「聴く」という漢字は、私たちが普段よく使っている「聴力」「聴診器」「視聴覚」や「視聴率」など、注意深く聞く意味の場合に、この「聴く」という字を使います。

今日の私の話を注意深く耳を傾けて聴いた人は、話がよくわかったと思います。

これからは授業や集会の時など、先生や友達の話に「耳だけで聞いていたかな」「心が入っていたかな」などと反省しながら聞くと、人の話を聞き逃すことがなくなるでしょう。

今日の二つ目のプレゼントは、「話は耳と目と心で聴く」という言葉でした。